TOSTEM

ガレージシャッター

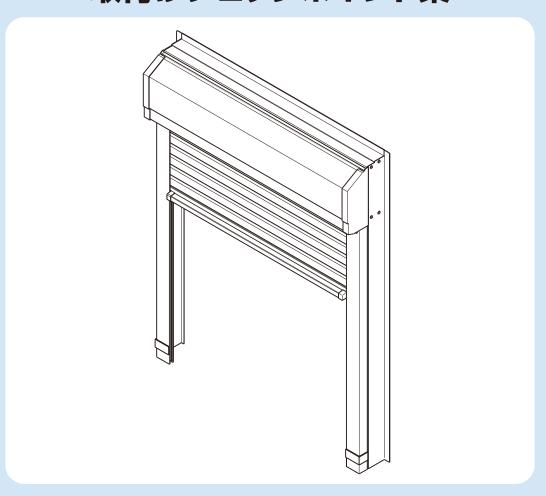
工事店さま用

製品を正しくお取付けいただくための

ガレージシャッター

(木造直付·木造壁付·RC造直付·鉄骨造直付)

取付けチェックポイント集



取付けにあたって

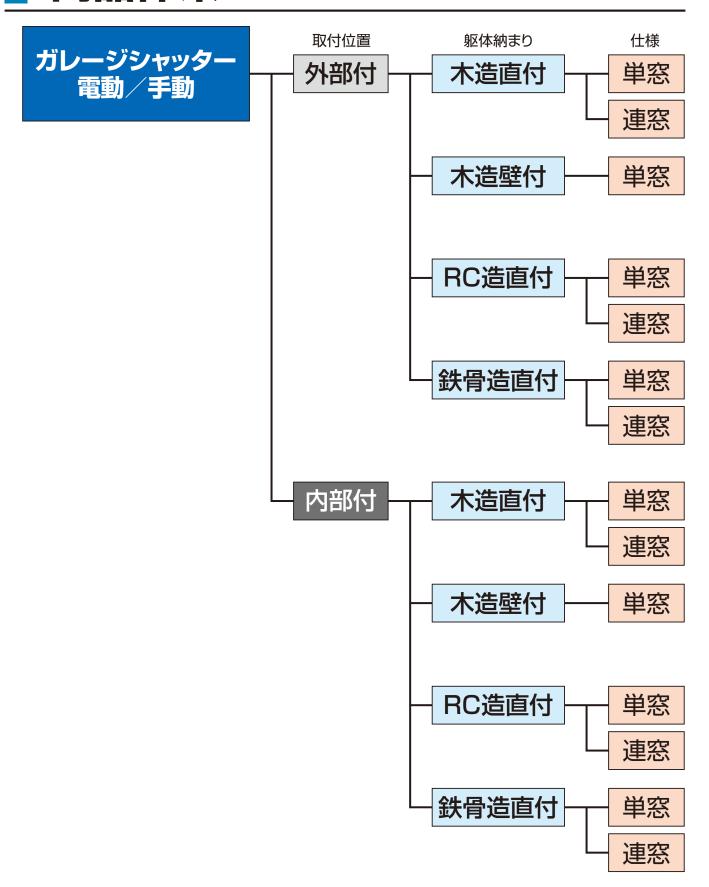
この説明書では、お客様の安全と製品を正しく施工 していただくための、組立ておよび施工について、 重要な内容を記載しております。 ご留意いただき、施工してください。



目次

■商品体系⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯	1
■各納まりの説明	·····2•3
	2
2.木造壁付	
3.RC造直付····································	
4.鉄骨造直付······	3
■発注前事前チェックリスト(確認項目一覧)	4
■現場確認事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
I.共通確認事項····································	
1.ボックス取付け範囲	
2.配線位置の確認	
3.基礎部の確認	
Ⅱ.納まり別確認事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
<木造壁付>	,
1.外装材の確認(木造壁付)	7
2.取付け面(木造壁付)	8
3.開口部(木造壁付)	8
4.シャッター取付け範囲(木造壁付)	
5.ねじ止め位置と柱端部位置の確認方法(木造壁付)	·····10~13
6.ねじかかり寸法と外壁厚さ(木造壁付)	
7.ねじ込みトルクの強さとトルクドライバーの使用方法(木造壁付)	16.17
<rc造直付></rc造直付>	
1.外装材の確認(RC造直付)····································	
2.取付け面(RC造直付)	
3.開口部(RC造直付)····································	
4.シャッター取付け範囲(RC造直付)	
5.ねじ取付け位置(RC造直付)	21
<鉄骨造直付>	
1.シャッター取付け部の鉄骨厚さ確認(鉄骨造直付)	22
<木造直付・鉄骨造直付>	
1.連窓の場合、吊束の寸法確認	23
■発注のための寸法算出	···24~33
1.木造直付·鉄骨造直付(単窓)/(連窓)····································	······24 · 25
2.木造壁付	26
3.木造壁付(下地部材仕様)	
4.RC造直付(単窓)/(連窓)····································	
5.RC造直付(両入隅)(単窓)/(連窓)····································	
6.RC造直付(片入隅)(単窓)/(連窓)····································	
■施工完了確認チェックリスト	
■動画	
■商品保証について	36

商品体系

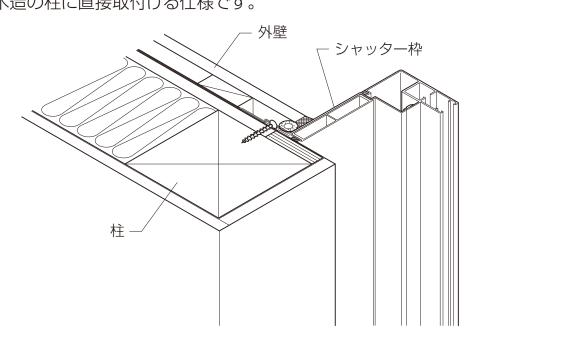


各納まりの説明

木造直付

「木造直付」とは…

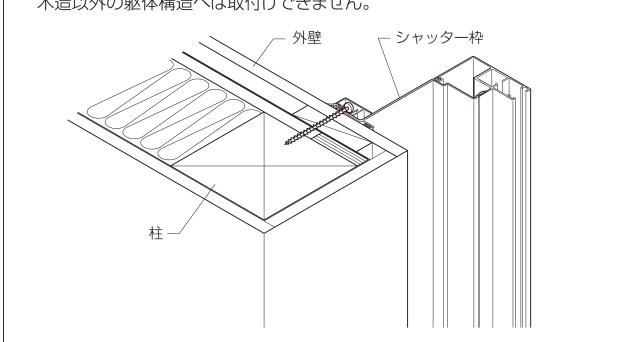
※木造の柱に直接取付ける仕様です。



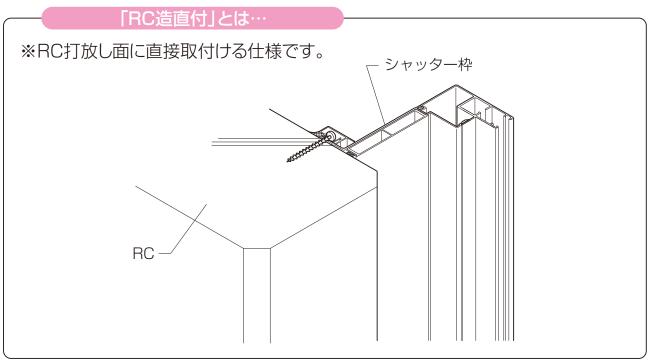
个 木造壁付

「木造壁付」とは…

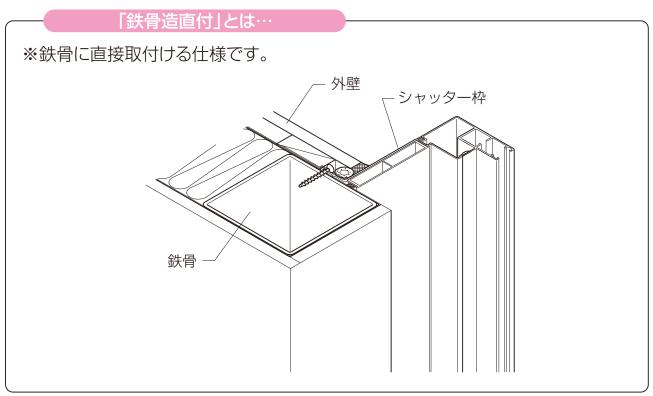
※外壁の上から取付ける仕様です。 木造以外の躯体構造へは取付けできません。



RC造直付



鉄骨造直付



発注前事前チェックリスト(確認項目一覧)

※このページはコピーしてお使いください。

※発注前に必ず下記項目をご確認ください。又、発注の際は、このチェックリストを発注先窓口へ提出してください。

現場名	チェック担当者	チェック日		
		年	月	日

※[はい・いいえ]のいずれかに○をしてください。

区分	重要度(※1)	チェック項目	対象納まり	該当 ページ	チェック
確認する 項目	*	取付ける建物の構造は木造直付、木造壁付、 RC造直付、鉄骨造直付のいずれかであること。	共通	P.2	はい・いいえ
		取付ける建物の外壁は窯業、金属サイディング、 モルタル壁のいずれかであること。	木造壁付	P.7	はい・いいえ
	*	RC造の打放し面に直接取付けられるように なっていること。 (取付け面に外装材が無いこと)	RC造直付	P.18	はい・いいえ
現場にて確認する		ボックス部取付けスペースが確保されていること。	共通	P.5	はい・いいえ
項目		配線位置が確認されていること。	共通	P.6	はい・いいえ
		基礎部と躯体面が同一面になっていること。	共通	P.6	はい・いいえ
		シャッター取付け面は同一面であり、突起物がないこと。	木造壁付 RC造直付	P.8 P.19	はい・いいえ
	*	シャッター取付け部開口周りに漏水の跡がないこと。	木造壁付 RC造直付	P.8 P.19	はい・いいえ
		シャッター取付けスペースが確保されていること。	木造壁付 RC造直付	P.9 P.20	はい・いいえ
	*	取付けねじの位置に柱があること。	木造壁付	P.10	はい・いいえ
	*	柱へのねじかかり寸法30mm以上のこと。 (外壁の厚さは45mm未満であること)	木造壁付	P.14	はい・いいえ
	*	取付ける柱が腐っていないこと。又、取付けねじのねじ込みトルクが25kgf·cm以上であることを確認すること。	木造壁付	P.16	はい・いいえ
	*	取付けねじが躯体端部より、40mm以上であること。	RC造直付	P.21	はい・いいえ
	*	シャッター取付け部の鉄骨の板厚が1.6mm 以上であること。	鉄骨造直付	P.22	はい・いいえ
		連窓中央部のシャッター吊束の取付け下地 (吊束)の幅が90mm以上あること。	木造直付 鉄骨造直付	P.23	はい・いいえ
		発注寸法の採寸は実施されていること。	共通	P.24 ~33	はい・いいえ

※1:*は重要検査項目を示しています。落下、脱落事故につながりますので、必ず検査を実施してください。 お施主さまにケガ(重傷)を負わせる可能性があります。

現場確認事項

I 共通確認事項

※全ての躯体納まり(木造直付・木造壁付・RC造直付・鉄骨造直付)で以下の確認事項を確認してください。

ボックス取付け範囲

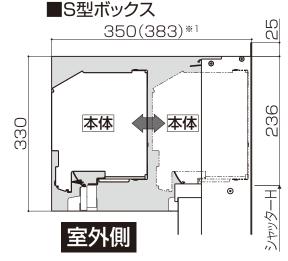
- ●シャッターの取付け、メンテナンス時に下図のスペースが必要です。
- ※軒天・バルコニー・雨どい・手すり・雨戸枠など、シャッター取付けに支障をきたすものがある場合は、取外し、移動工事が発生することを、必ずお施主さま・工務店様へご確認、ご依頼願います。

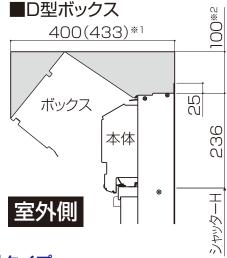
ボックス取付け必要スペース

●外部付タイプ

	% 1	% 2
S型ボックス	350mm(383mm)	Omm
D型ボックス	400mm(433mm)	100mm

※()は下地部材使用時の寸法です。





●内部付タイプ

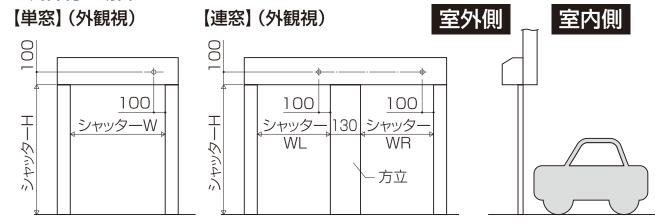


2

配線位置の確認

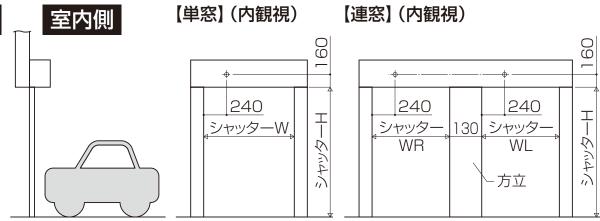
●電動の場合、電源線が下図の位置になりますので、配線のための配管工事や外壁への穴あけ工事等を工務店様にお願いしてください。

<外部付の場合>



<内部付の場合>





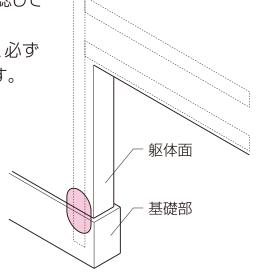
※本図は内観視です。シャッターWL、 WRは外観視なのでご注意ください。

3

基礎部の確認

※基礎部が躯体面と同一面になっているかを確認して ください。

段差がある場合は補修工事が発生することを、必ず お施主さま・工務店様へご確認・ご依頼願います。



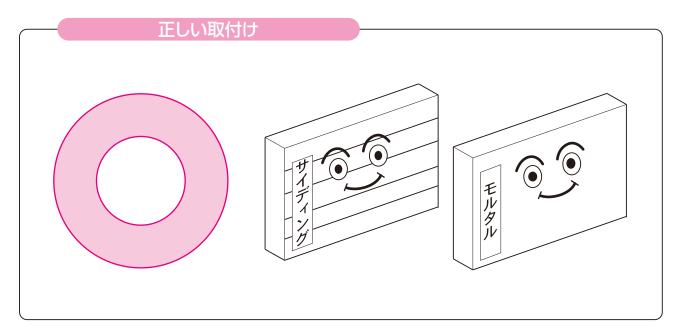
Ⅱ納まり別確認事項

<木造壁付>

※木造壁付の場合、以下の確認事項を確認してください。

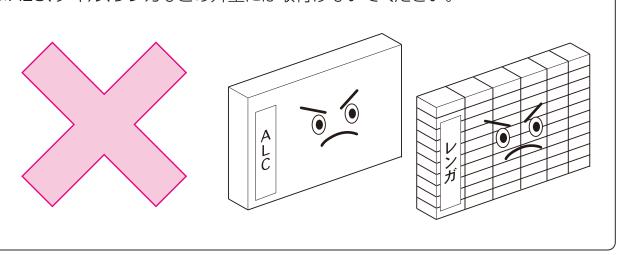
外装材の確認(木造壁付)

- ●木造壁付は窯業サイディング、金属サイディング、モルタル外壁専用です。
- ●金属サイディングの場合、下地部材を使用してください。(外部付のみ) 下地部材を使用しないと取付け面が安定しないため、開閉不良の原因になります。
- ※上記以外の外壁への取付けはできません。



悪い取付け

※ALC、タイル、レンガなどの外壁には取付けないでください。



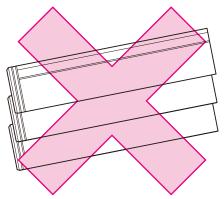
不良現象

※外壁のワレ:取付けの際に外壁が割れ、漏水することがあります。

2

取付け面(木造壁付)

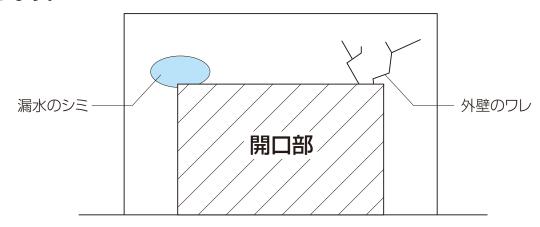
- ●取付け面は同一面であり、突起物がないことをご確認ください。
- ※取付け面が同一面でない場合はシャッターの取付けができません。段差、突起物、著しい不陸がある場合は補修工事が発生することを、必ずお施主さま・工務店様へご確認・ご依頼願います。



3

開口部(木造壁付)

- ●シャッター取付け部開口周りに漏水の跡や外壁のワレがないことをご確認ください。
- ※漏水のおそれがある場合は、必ずお施主さま·工務店様へ補修工事のご確認、ご依頼 願います。

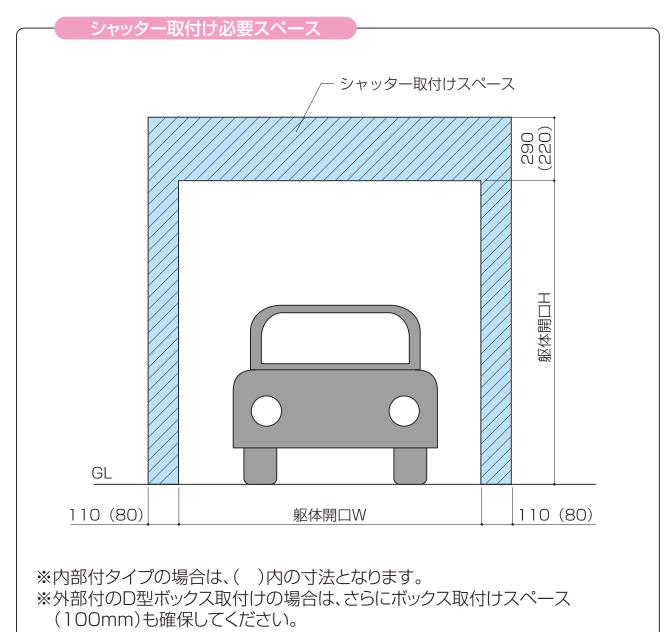


※下記の条件にあてはまる場合は、必ずお施主さま・工務店様と打合わせください。



シャッター取付け範囲(木造壁付)

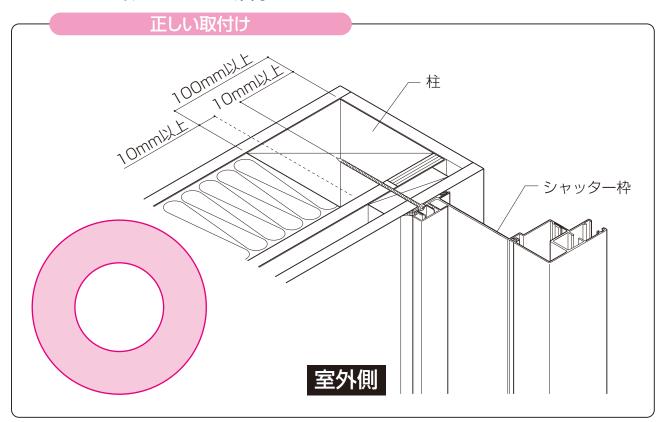
- ●木造壁付には下図の取付けスペースが必要です。
- ※取付けスペースがないと、シャッターを取付けることができません。軒天・バルコニー・雨どい・基礎など、シャッター取付けに支障をきたすものがある場合は、取外し、移動工事が発生することを必ずお施主さま・工務店様へご確認、ご依頼願います。

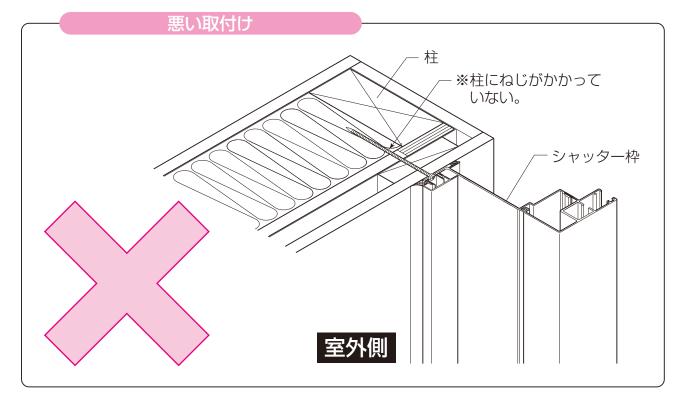


5

ねじ止め位置と柱端部位置の確認方法(木造壁付)

●シャッター取付けねじは柱端部から10mm以上の位置になることを確認し、柱の幅が100mm以上あることを確認してください。





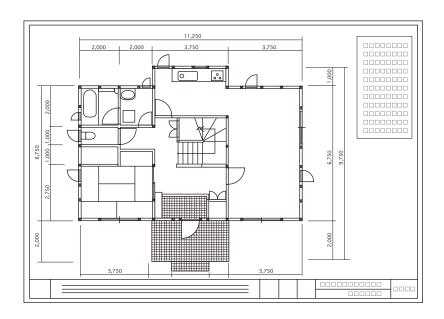
不良現象

※落下事故発生:シャッターが脱落・落下するおそれがあります。

※柱端部位置を確認できない場合は、次の手順にしたがって確認を行ってください。

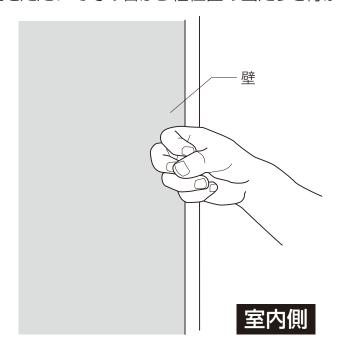
■建築図面による柱端部位置の確認

●柱端部位置を建築図面より読み取ります。



2 打診・壁裏探知器・下地探し針による柱端部位置の確認

- ①打診による柱位置の当たり付け
- ●室内側より、壁をたたいてその音から柱位置の当たりを付けます。



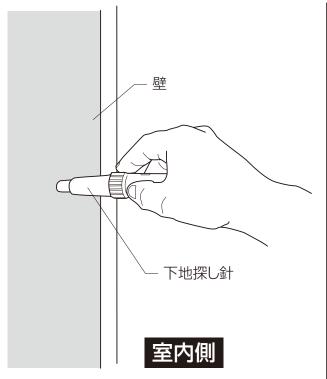
②壁裏探知器による確認

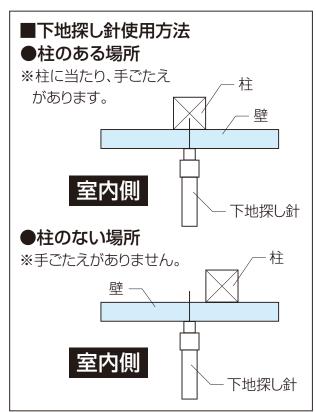
●壁裏探知器を利用して室内側より、柱位置を確認します。



③下地探し針による確認

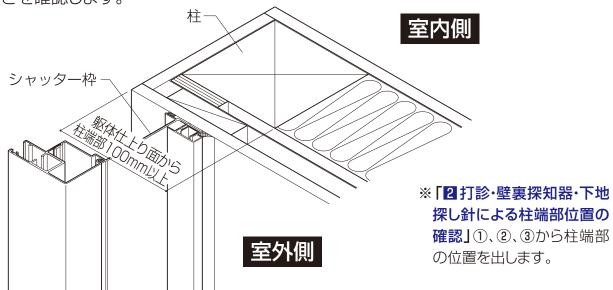
●下地探し針を利用して室内側より、柱位置を確認します。





3 柱位置を確認する

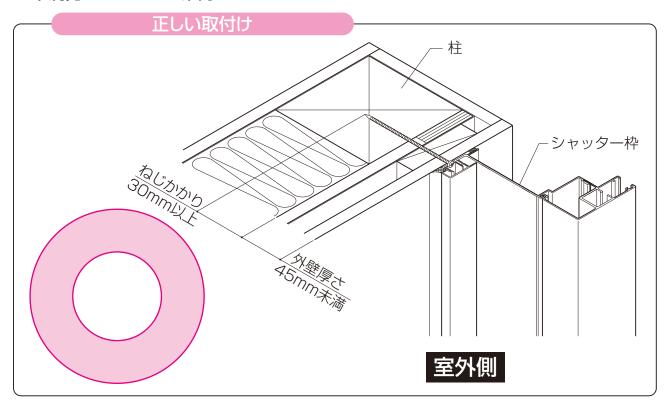
●打診・壁裏探知器・下地探し針を用いた調査結果より躯体仕上り面から柱端部までの 長さを確認します。

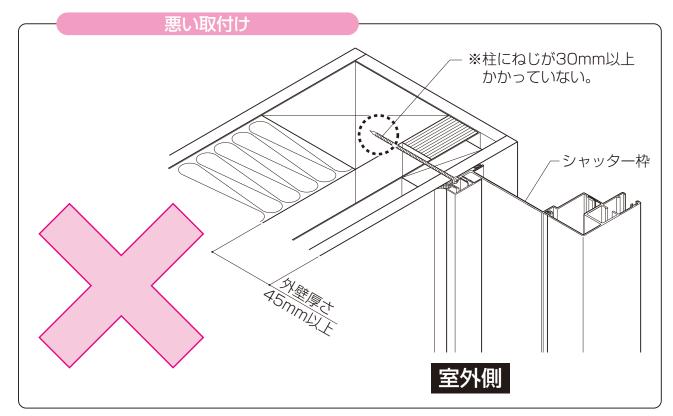


6

ねじかかり寸法と外壁厚さ(木造壁付)

●シャッター取付けねじは、柱(躯体)に30mm以上[外壁厚さ(外壁外面〜柱:45mm 未満)]かかることを確認してください。





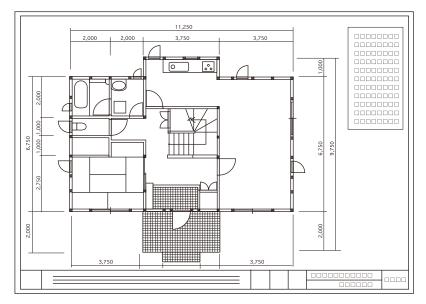
不良現象

※落下事故発生:シャッターが脱落・落下するおそれがあります。

※外壁厚さを確認できない場合は、次の手順にしたがって確認をしてください。

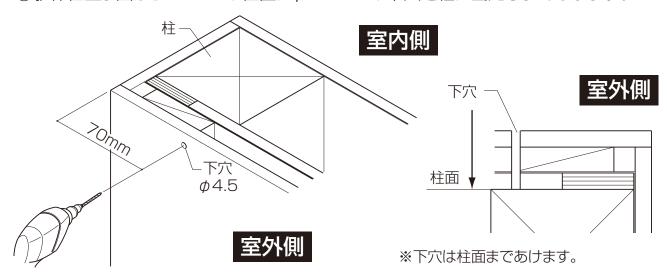
■建築図面による外壁厚さの確認

●外壁厚さを建築図面より読み取ります。

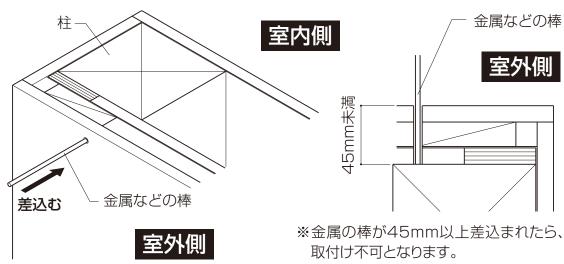


2 外壁厚さの確認

①躯体仕上り面から70mmの位置に $\phi4.5$ mmの下穴を柱に当たるまであけます。

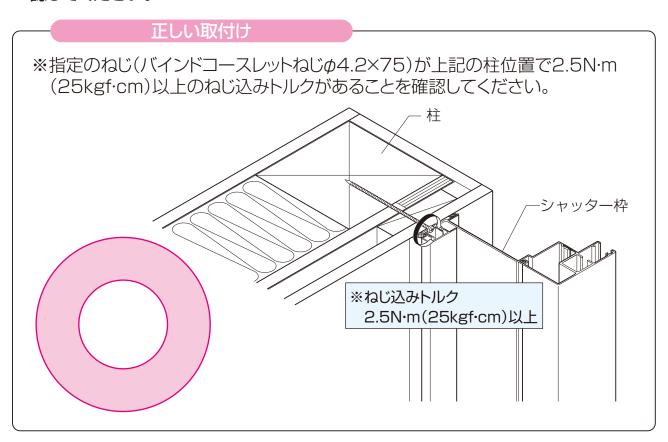


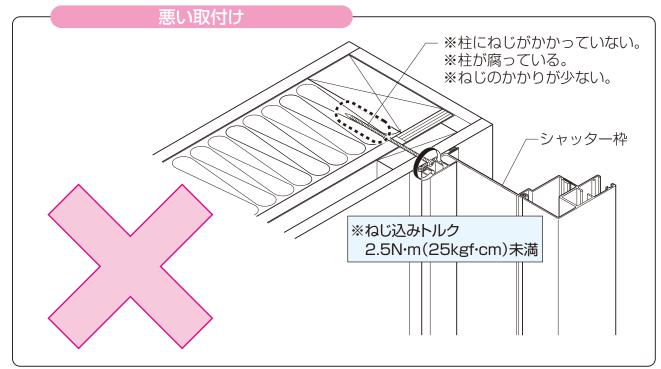
②金属などの棒を差込んで、柱までの距離を測定します。



ねじ込みトルクの強さとトルクドライバーの使用方法(木造壁付)

●シャッター取付けねじのねじ込みトルクが2.5N·m(25kgf·cm)以上あることを確認してください。



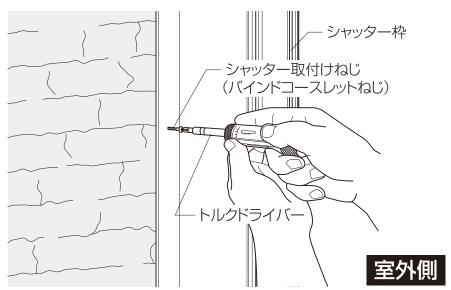


不良現象

※落下事故発生:シャッターが脱落・落下するおそれがあります。

■ねじ込みトルクの確認

※外壁厚さ測定時にあけた穴に、シャッター取付けねじ(バインドコースレットねじ)をトルクドライバーを用いて取付けます。そのときのねじ込みトルクは、2.5N·m (25kgf·cm)あることを確認してください。

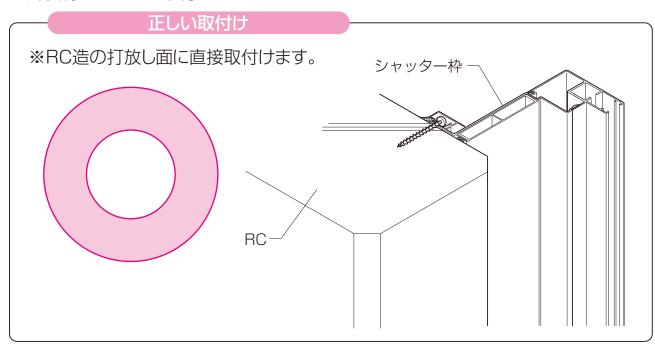


<RC造直付>

※RC造直付の場合、以下の確認事項を確認してください。

外装材の確認(RC造直付)

※RC造直付はRC造の打放し面に直接取付ける仕様となっています。 外装材の上からは取付けできません。



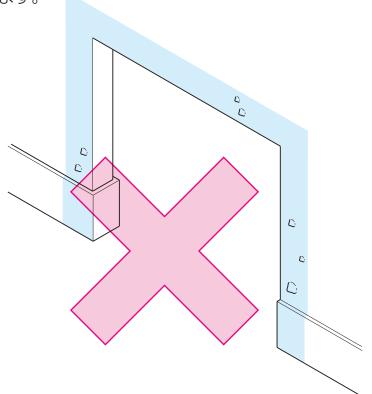
不良現象

※落下事故発生:シャッターが脱落・落下するおそれがあります。

2

取付け面(RC造直付)

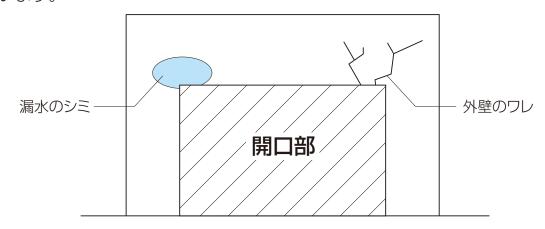
- ●取付け面は同一面であり、突起物がないことをご確認ください。
- ※取付け面が同一面でない場合はシャッターの取付けができません。段差、突起物、著しい不陸がある場合は補修工事が発生することを、必ずお施主さま・工務店様へご確認・ご依頼願います。



3

開口部(RC造直付)

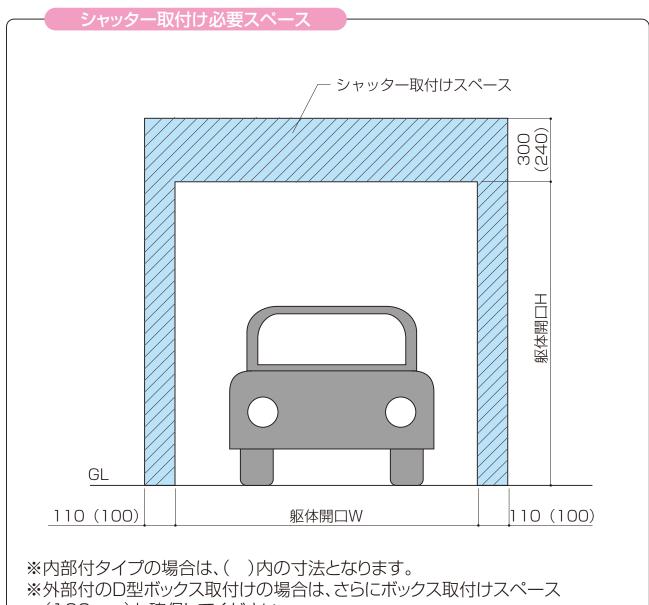
- ●シャッター取付け部開口周りに漏水の跡や外壁のワレがないことをご確認ください。
- ※漏水のおそれがある場合は、必ずお施主さま·工務店様へ補修工事のご確認、ご依頼 願います。



※下記の条件にあてはまる場合は、必ずお施主さま・工務店様と打合わせください。

シャッター取付け範囲(RC造直付)

- ●RC造直付には下図の取付けスペースが必要です。
- ※取付けスペースがないと、シャッターを取付けることができません。軒天・バルコニー・ 雨どい・基礎など、シャッター取付けに支障をきたすものがある場合は、取外し、移動 工事が発生することを必ずお施主さま・工務店様へご確認、ご依頼願います。

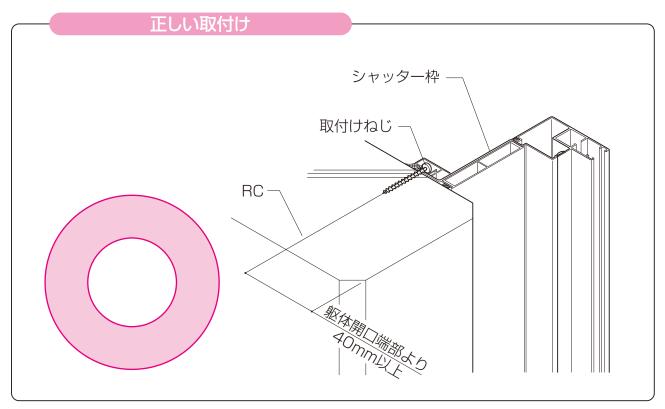


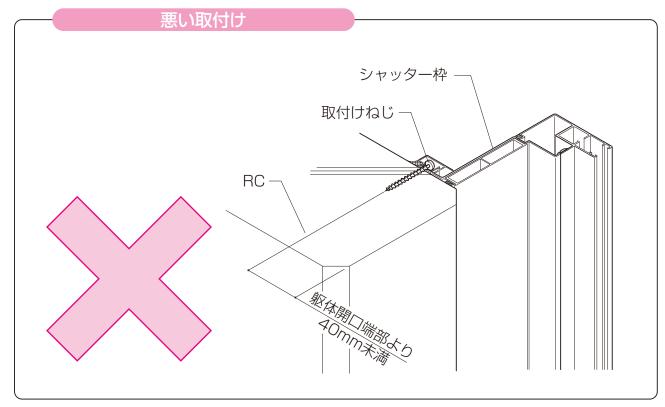
(100mm)も確保してください。

5

ねじ取付け位置(RC造直付)

●シャッター取付けねじは、躯体開口端部より40mm以上あることを確認してください。





不良現象

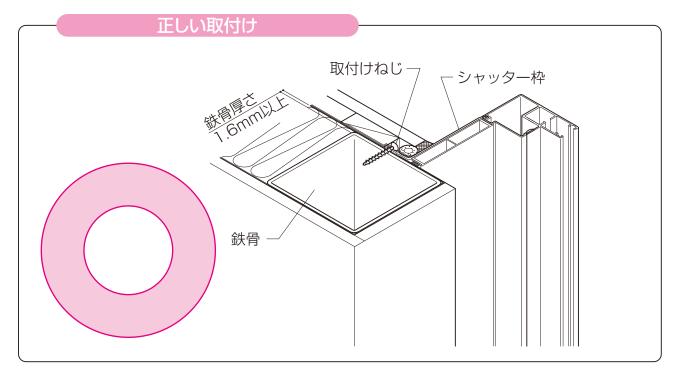
※落下事故発生:シャッターが脱落・落下するおそれがあります。

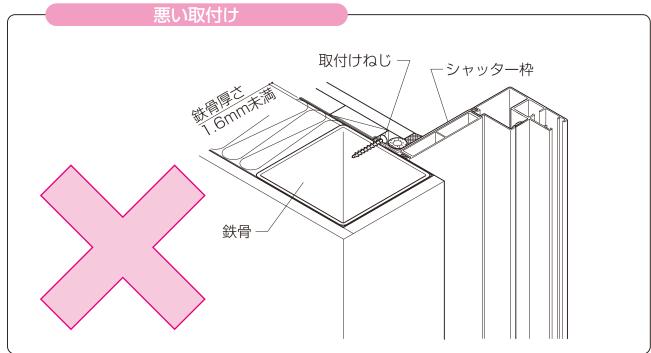
<鉄骨造直付>

※鉄骨造直付の場合、以下の確認事項を確認してください。

シャッター取付け部の鉄骨厚さ確認(鉄骨造直付)

●シャッター取付け部の鉄骨の厚さが1.6mm以上あることを確認してください。





不良現象

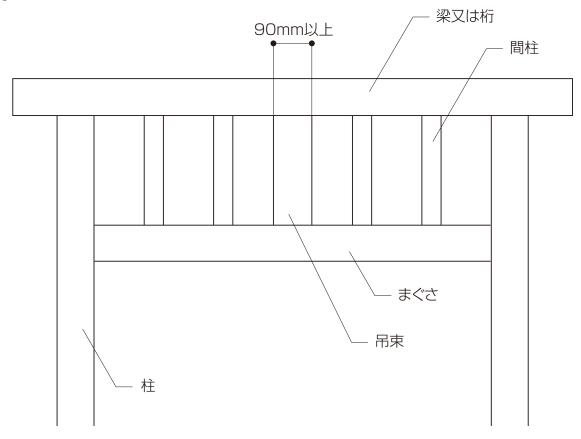
※落下事故発生:シャッターが脱落・落下するおそれがあります。

<木造直付•鉄骨造直付>

※木造直付・鉄骨造直付の場合、以下の確認事項を確認してください。

連窓の場合、吊束の寸法確認

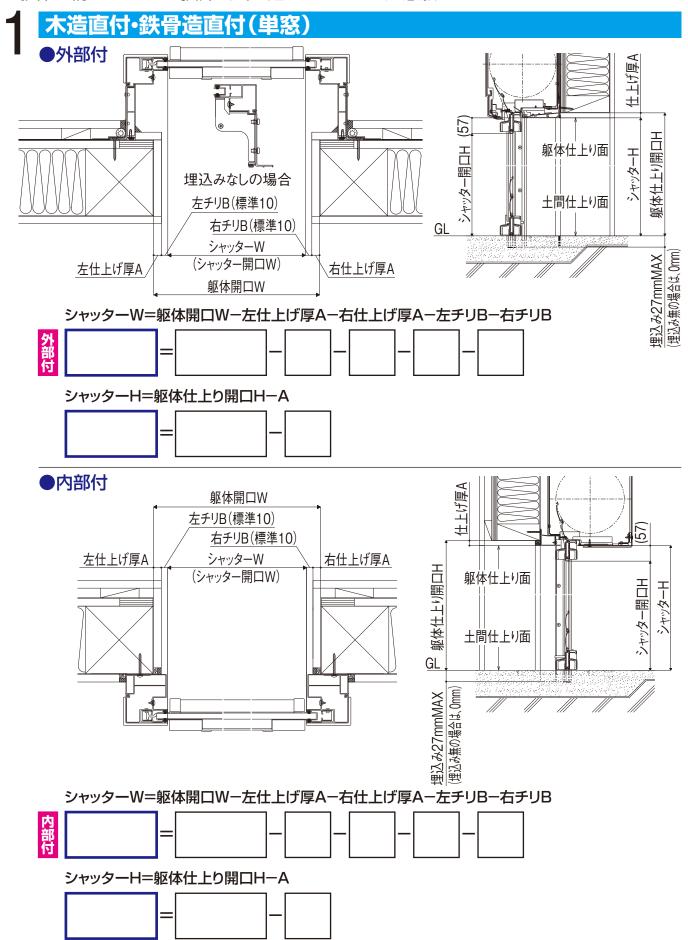
●連窓中央部のシャッター吊束の取付け下地(吊束)の幅が90mm以上あることを確認してください。



※シャッター吊束には最大80kgの荷重がかかります。吊束が入っていない場合や吊束の幅が90mmより小さい場合は、取付けできません。必ず90mm以上の下地(吊束)を入れることをお施主さま・工務店様へご確認・ご依頼願います。

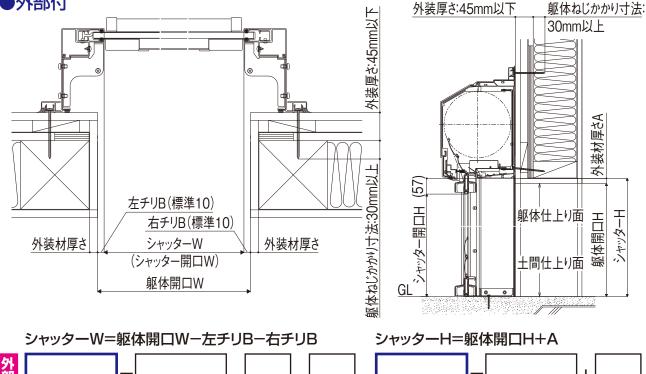
発注のための寸法算出

※採寸は下記事項にしたがって測定、割り出しをお願いします。
躯体の納まりによって換算公式が違いますのでご注意願います。

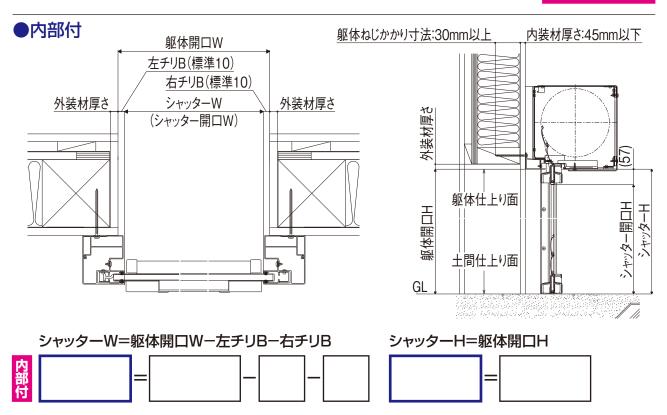


木造直付・鉄骨造直付(連窓) 外部付 仕上げ厚A 躯体仕上り開口H シャッター開口H 躯体仕上り面 シャッターH 埋込みなしの場合 土間仕上り面 GL 130 左仕上げ厚A 右仕上げ厚A 埋込み27mmMAX (埋込み無の場合は、0mm) 左チリB(標準10) 右チリB(標準10) 躯体開口W シャッターWR シャッターWL (シャッター開口WR) (シャッター開口WL) シャッターWL+130(方立)+シャッターWR=躯体開口W-左仕上げ厚A-右仕上げ厚A-左チリB-右チリB +130+ シャッターH=躯体仕上り開口H-A ●内部付 上げ厚A # シャッターWR シャッターWL (57)躯体開口W (シャッター開口WR) (シャッター開口WL) 左仕上げ厚A 右仕上げ厚A 130 躯体仕上り開口H 躯体仕上り面 シャッター開口H シャッターH 左チリB(標準10) 右チリB(標準10) 土間仕上り面 GL (埋込み無の場合は、0mm 埋込み27mmMAX シャッターWL+130(方立)+シャッターWR=躯体開口W-左仕上げ厚A-右仕上げ厚A-左チリB-右チリB シャッターH=躯体仕上り開口H-A

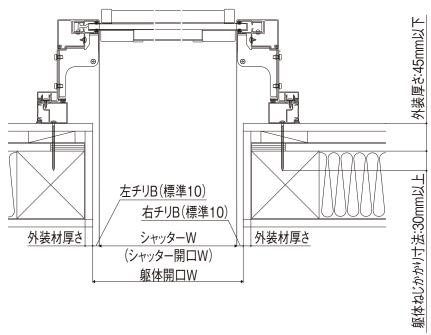
木造壁付 ●外部付

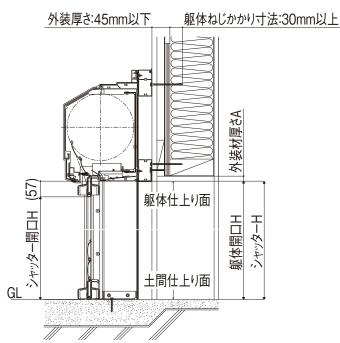


外装材の厚さを プラスします



木造壁付(下地部材仕様) ●外部付





シャッターW=躯体開口W-左チリB-右チリB

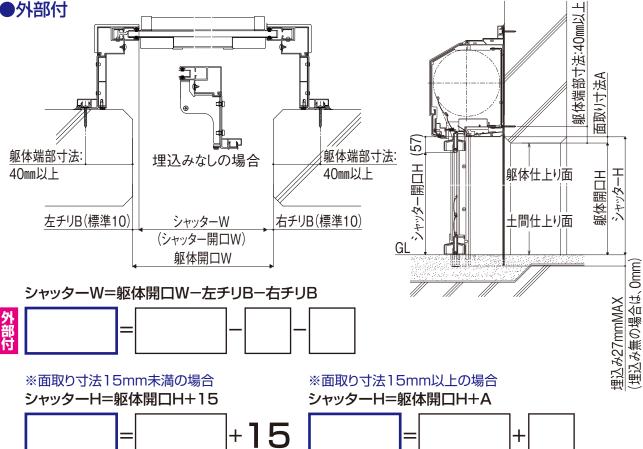
シャッターH=躯体開口H



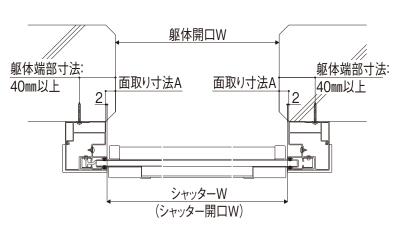


RC造直付(単窓)





●内部付



躯体端部寸法: 面取り寸法A 57 躯体仕上り面 シャッター開口H 躯体開口H ンセッター H 土間仕上り面 GL (埋込み無の場合は、0mm) 埋込み27mmMAX

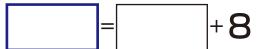
シャッターW=躯体開口W+2A-4





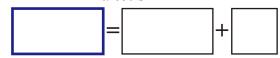
※面取り寸法8mm未満の場合

シャッターH=躯体開口H+8

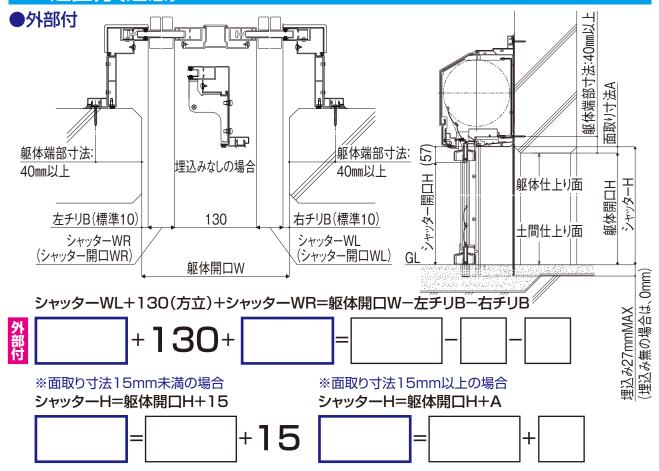


※面取り寸法8mm以上の場合

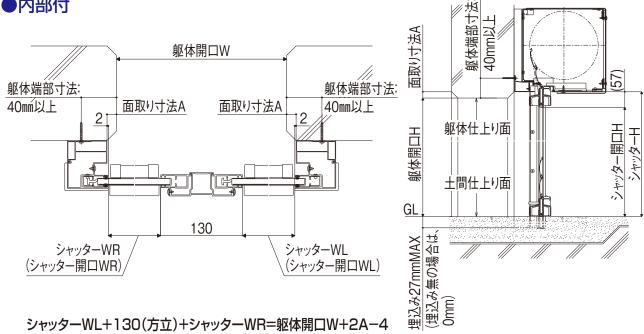
シャッターH=躯体開口H+A



RC造直付(連窓)



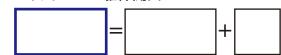
●内部付



※面取り寸法8mm未満の場合 シャッターH=躯体開口H+8

+8

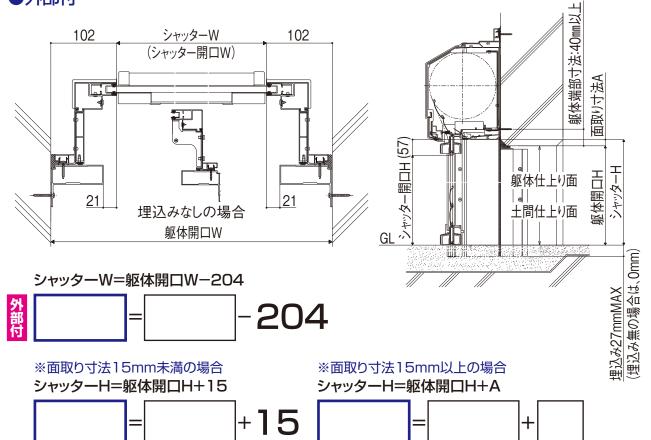
※面取り寸法8mm以上の場合 シャッターH=躯体開口H+A



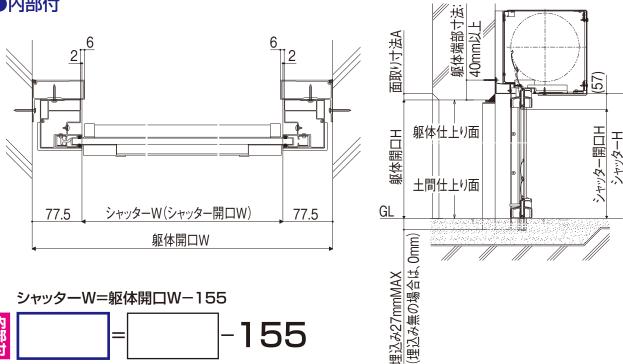
5

RC造直付(両入隅)(単窓)

●外部付



●内部付



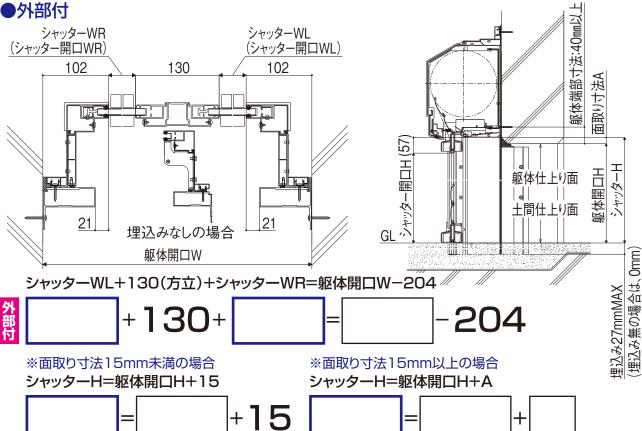
※面取り寸法8mm以上の場合

+

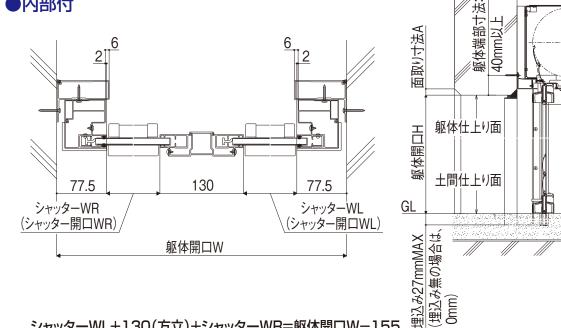
※面取り寸法8mm未満の場合

RC造直付(両入隅)(連窓)





內部付



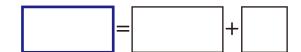
シャッターWL+130(方立)+シャッターWR=躯体開口W-155



※面取り寸法8mm未満の場合

シャッターH=躯体開口H+8

※面取り寸法8mm以上の場合 シャッターH=躯体開口H+A



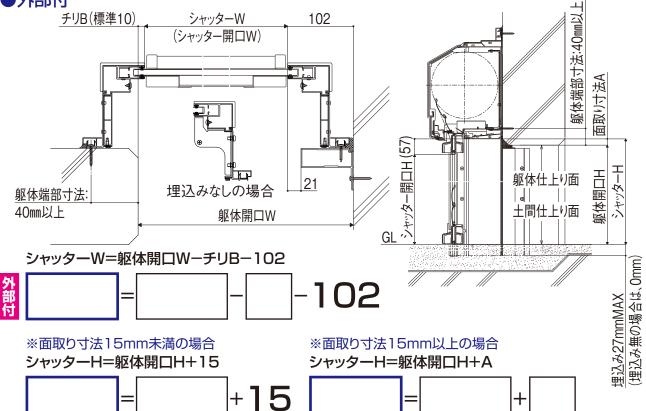
(57)

シャッター開口H

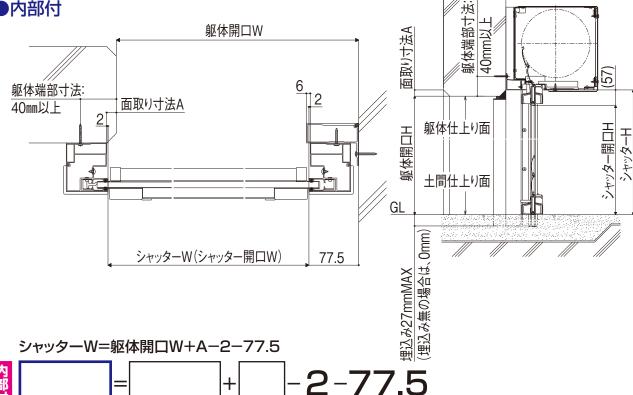
ソヤッターH

RC造直付(片入隅)(単窓)





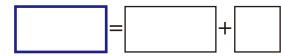
●内部付



※面取り寸法8mm未満の場合 シャッターH=躯体開口H+8

※面取り寸法8mm以上の場合

シャッターH=躯体開口H+A



RC造直付(片入隅)(連窓) 外部付 躯体端部寸法:40mm以上 シャッターWR シャッターWL (シャッター開口WR) (シャッター開口WL) チリB(標準10) 130 102 面取り寸法A シャッター開口H (57 ンセッターエ 躯体開口H 躯体仕上り面 21 埋込みなしの場合 躯体端部寸法: 土間仕上り面 40mm以上 躯体開口W GL (埋込み無の場合は、0mm シャッターWL+130(方立)+シャッターWR=躯体開口W-チJB-102 埋込み27mmMAX 102 ※面取り寸法15mm未満の場合 ※面取り寸法15mm以上の場合 シャッターH=躯体開口H+15 シャッターH=躯体開口H+A +15 + ●内部付 躯体端部寸法 躯体開口W 40mm以_ 面取り寸法A (57) 6 躯体端部寸法: 面取り寸法A 40mm以上 躯体仕上り面 シャッター開口H 躯体開口H シャッターH 土間仕上り面 GL 130 77.5 (埋込み無の場合は、 Omm) シャッターWR シャッターWL 埋込み27mmMAX (シャッター開口WR) (シャッター開口WL) シャッターWL+130(方立)+シャッターWR=躯体開口W+A-2-77.5 2-77.5 + ※面取り寸法8mm未満の場合 ※面取り寸法8mm以上の場合 シャッターH=躯体開口H+A シャッターH=躯体開口H+8

+

+8

施工完了確認チェックリスト

※このページはコピーしてお使いください。

※ 施工完了確認のチェックが終わりましたら、お施主さまに確認印を頂き、お施主さまにお渡しください。

	現場名	チェック担当者	チェック日		
			年	月	日
	お施主さま確認欄	施工担当者	施	江日	
お名前	印		年	月	日

※[はい・いいえ]のいずれかに○をしてください。

施工区分	重要度(※1)	チェック項目	チェック		
外枠の取付け		外枠(縦枠)は垂直(傾き:3mm以内)に取付けられていますか。	はい・いいえ		
	*	外枠(縦枠)の取付けねじの締付けトルクは 25kgf·cm以上で 固定されていることを確認しましたか。	はい・いいえ		
シーリング処理 ※木造壁付 RC造直付の場合		シーリング忘れ、キレはないですか。 (シーリングポケット、ねじの下穴)	はい・いいえ		
本体の取付け		本体が本体固定金具に確実に引っ掛かり、ねじ止め忘れはないですか。	はい・いいえ		
		スラットの保護材・パットの取忘れはないですか。	はい・いいえ		
ガイドレールの 取付け		縦枠に確実にはめ込まれ、ねじの締め忘れはないですか。	はい・いいえ		
ボックスの 取付け		ボックス引っ掛け部が天板の溝に確実に入っていますか。 (外部付)	はい・いいえ		
		樹脂カバーは確実に差込まれて浮きがなく取付けましたか。 (外部付D型)	はい・いいえ		
		ボックスはすべてねじ止めされて閉め忘れはないですか。	はい・いいえ		
外観、取付け		開閉時に異音、引っ掛かりはありませんか。	はい・いいえ		
状況の確認 		スラット全閉時に施錠できますか。又、ゆすったときに外れない ですか。(手動のみ)	はい・いいえ		
		スラットの片下がり、横ズレはありませんか。	はい・いいえ		
		キズ、ヘコミ、色調に異常はないですか。	はい・いいえ		
		人が触れる部分に突起、バリ等のケガし易い部品はありませんか。	はい・いいえ		
		方立の落し錠は施錠されていますか。又、ゆすったときに外れないですか。(連窓のみ)	はい・いいえ		
電動部 ※電動の場合		シャッターはリモコンのボタンをワンタッチで押して (押し続けないでも)全閉または全開まで作動しますか。	はい・いいえ		
		上限・下限の停止位置は適正ですか。	はい・いいえ		
		障害物感知装置は正常に作動しますか。	はい・いいえ		
		停電時開閉機構は正常に作動しますか。	はい・いいえ		
		付属のリモコンを大工様・監督様に渡し説明しましたか。	はい・いいえ		

※1:*は重要検査項目を示しています。落下、脱落事故につながりますので、必ず検査を実施してください。 お施主さまにケガ(重傷)を負わせる可能性があります。



●施工動画



単窓(内部付)



連窓(外部付 / 内部付)

商品保証について

本書は、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中、商品に故障、損傷などの不具合(以下「不具合」といいます)が発生した場合には、お取り扱いの施工店、工務店、販売店又は当社お客さま相談センターにご相談ください。

■対象商品 サッシ・ドア商品

■ 保証期間 施工者よりの引き渡し日(注1・注2)から2年間(電装部品については1年間)

注1)改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。

注2)分譲住宅(建売住宅)・分譲マンションの場合は、建築主様への引き渡し日とします。

※ただし、「住宅の品質確保の促進等に関する法律」第2条第1項及び第2項に規定する「新築住宅」に取付けられた商品(同法第94条第1項に定める「雨水の浸入を防止する部分」として同法施行令第5条第2項に該当する部分に限る)からの雨水浸入については10年間とします。

■ 保証内容 取扱説明書、本体ラベル又はその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に商品そのものに不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項に該当する場合を除き無料修理いたします。

なお、強風雨時に、サッシ下枠に雨水がたまることがありますが、これは商品上の特性であり不具合ではありません。 不具合といえる雨水浸入は、サッシ下枠を越えて雨水が流れ出たり、あふれ出たりすることです。

- 免責事項 保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。
 - ①当社の手配によらない加工、組立て、施工、管理、メンテナンスなどに起因する不具合 (例えば、海砂や急結剤を使用したモルタルによる腐食。中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や 腐食。工事中の養生不良に起因する変色や腐食など)
 - ②お客様の指図による、正規仕様でない特別な仕様にて製作した部分に起因する不具合 (例えば、サッシ・ドアの防犯性能、使い勝手、操作性の低下など)
 - ③表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取付けられた場合の不具合
 - ④建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合
 - ⑤商品又は部品の経年変化(使用に伴う消耗、摩耗など)や経年劣化(樹脂部品の変質、変色など)又はこれらに伴うさび、 かびなどその他類似の不具合
 - ⑥商品周辺の自然環境、住環境などに起因する結露、腐食又はその他の不具合 (例えば、塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起きる腐食。ガラスの熱割れ。強化ガラスの自然破損。異常な高温・低温・多湿による不具合など)
 - ⑦商品又は部品の材料特性に伴う現象 (例えば木製品の反り、干割れ、色あせ、木目違い、ふし抜け、樹液のにじみ出しなど)
 - ⑧天災その他の不可抗力

(例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、洪水、地盤沈下、火災など)による不具合又はこれらによって商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合

- ⑨施工当時実用化されていた技術、知識では予測することが不可能な現象又はこれが原因で生じた不具合
- ⑩犬、猫、鳥、鼠などの小動物に起因する不具合
- ⑪引き渡し後の操作誤り、調整不備又は適切な維持管理を行わなかったことによる不具合 (例えば、クレセント・錠などの部品が、使用中にがたついたり異音などが発生し、異常が生じたまま使用し続けたことが 原因で発生した傷・破損などの不具合)
- ⑫お客様自身の組立て、取付け、修理、改造(必要部品の取外しを含む)に起因する不具合
- ⑬本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
- ⑭犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

^{*}保証期間経過後の修理、交換などは有料とさせていただきます。

^{*}本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お取り扱いの施工店、工務店、販売店又は当社お客さま相談センターにお問い合わせください。

株式会社 LIXIL

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで

受付時間/月~金 9:00~18:00 土・日・祝日 9:00~17:00(ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く)

TEL. 556 0120-126-001

●旭トステム外装株式会社のサイディング材に関する商品相談は

旭トステム外装(株)サービスデスクナビダイヤル TEL.0570-001-117

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで

受付時間/月~金 9:00~18:00(祝日、年末年始、夏期休暇等を除く)

TEL. 00 0120-413-433 FAX. 00 0120-413-436

https://www.lixil.co.jp/support/

安全に関するご注意

ご使用の前に「取扱説明書」をよくご覧の上、正しくお使いください。また、取付設置工事は「取付設置説明書・施工説明書」に従ってください。いずれの場合も、取り扱いを誤ると事故や故障の原因となります。

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさまおよび流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社の「個人情報保護方針」に記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「個人情報保護方針」をご覧ください。

●商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。

ECO₁ FIRST

地球環境のためにLIXILは 業界トップランナーとして 先進的な取組をしていきます。

株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、LIXIL オフィシャルサイトまで

https://www.lixil.co.jp/

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CAD データなどの各種情報は、上記オフィシャルサイトから ご確認ください。

業務用 | IS1100 | 01 | 2023.5.20 発行